

地域のもりから学ぶ森林づくり 2016

「森林の生物多様性を学ぶ」 第四回森林教室

今年度の第4回森林教室を、9月27日（火）定山溪中学校の生徒を対象に石狩森林管理署管内奥定山溪国有林（2115林班）で実施しました。

今回は、奥定山溪国有林で採取した種子から育てたアカエゾマツや幼苗で持ち帰り育てたミズナラ、イタヤカエデなどを再び奥定山溪に返し、森林の持つ機能を更に発揮させようということを目的としています。



カミネッココン組み立て中

まず最初に中学校の体育館で開会式を行った後、再生段ボール製のカミネッココンを組み立て、土と苗木を入れるとポット苗の完成です。



土と苗木を入れます



完成

それぞれのカミネッコンを持って奥定山溪国有林へ移動し、3～4個を1組にして合計で15本植栽し、最後に乾燥防止のための水をかけます。



設置状況



乾燥防止の水かけ



生徒が養苗した、コンテナ苗のアカエゾマツなどもディンプルとスペードという植栽器具を使って10本植栽しました。



その後、昨年までに植栽した苗木の生長調査を行うとともに、林道縁にあるハリギリ、ミズナラ、イタヤカエデなど約10本の幼苗を採取し、学校に持ち帰りました。

これらの幼苗は来年度以降、森へ返す予定となっています。

